◆住み良く元気な『とようら』に◆

まちづくり とようら

平成28年
9月23日発行
会報第4号
発行：豊浦地区
まちづくり協議会

☆☆ 夢が丘中学校美術部の皆さんとコラボレーション ☆☆

ワークショップで『まちづくりのぼり』を作成！！

↓ワークショップの様子

↑のぼりデザインを利用して「しおり」を作製しました。夢が丘中学生に配布予定です。

夏休みに入ってすぐ、川棚出身のＷＥＢデザイナー・八木 愛さんの指導で、夢が丘中学校美術部の皆さんと「のぼり」作成ワークショップを行いました。

協議会からはまず、豊浦の歴史・自然・遺跡・先人の業績等、豊浦の誇りとする事柄について中学生に知ってもらう為のプレゼンを行いました。さらに昨年の夢中三年生を対象としたまちづくりアンケートも参考にしながら、中学生の感性で「のぼり」のデザインを提案してもらいました。最終仕上げは八木さんにお願いし、四点のデザインをのぼりとして作製いたしました。

今後、様々なイベントで活用します。

夢中美術部の皆さんありがとう！

まちづくりの『のぼり』ができました！

地域の課題に行政と連携しながら！

豊浦総合支所長と懇談

まちづくり協議会は発足して一年足らずですが、各部会では様々な議論を行っています。

住み良く元気な地域であるための熱意には強いものがありますが、残念ながら、実行するための権限と予算を持っていません。

これまで、「豊浦知っちょる会」・「フットパス」・「とようら映画祭り」などを行ってきましたが、住み良い地域の「しくみ」づくりは行政との連携なしに実現はできません。

今回、九月二十九日に総合支所長を始め関係課長との懇談を行いますが、懇談会では、「豊浦地区における事業計画について」・「『道の駅』に関する行政の考えについて」・「豊浦におけるＪＲ川棚温泉駅の位置付けは？」という三点について懇談を行います。地域の皆様のご意見もお願いします。

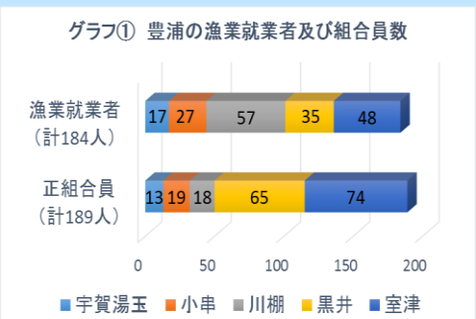
とようら映画祭り開催！

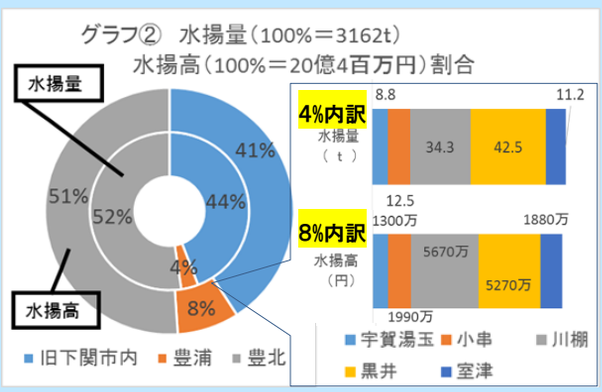
九月四日（日）にとようら映画祭りを開催しました。

午前中は子供向けの「ミニオンズ」を、午後からは「はなちゃんのみそ汁」を二回上映いたしました。当日はたくさんの皆様にご来場いただき、大きな画面での映画を楽しんでいただけたのではないかと思います。

また、会場では手作りパンやアクセサリー、新鮮野菜の販売もあり、各店盛況な様子でした。パン屋さんから羊羹のふるまいもあり、映画以外でも楽しんで頂けたのではないかと思います。

～ 数字で見るとようらの『いま』 《豊浦の漁業》 ～





表① 水揚量上位の魚種

豊浦	宇賀湯玉	さざえ、さわら、あわび
	小串	いか、さざえ、さわら
	川棚	ふく、さわら、さざえ
	黒井	養殖はまち、養殖たい、ぬたうなぎ
	室津	さわら、ぬたうなぎ、天然ひじき

豊浦まちづくり　検索

今回の統計資料は「下関市水産統計年報 26 年版」によります。

豊浦は県漁協の支店として、湯玉、小串、川棚、室津の４支店からなり、さらに黒井漁協があります。

それぞれの漁業就業者、組合員数がグラフ①です。その年齢構成は 60 才以上が 80%を超えます。

豊浦の漁業の下関市における位置はグラフ②に示す通りです。豊北とは大きな差があります。また、水揚量上位の魚種が表①です。豊北ではこの豊浦の魚種のほかに、ぶり・ひらまさ・いさき・あじ・いわしといった魚をみることができます。

漁業、農業を中心とした地産地消の仕組みづくりは、地域の活性化のための重要な課題です。現状を認識しながら今後の課題を議論したいと思います。

次回は豊浦の農業の『今』を見ます。

事務所住所：豊浦町大字川棚 7112-4（豊浦コミュニティ情報プラザ内）　電話：083-227-2744(FAX 兼用)
mail：toyoura-machidukuri@chic.ocn.ne.jp　ホームページ：http://toyouramatidukuri.wix.com/kyougikai

みかんDEデート 少子化対策部会婚活イベント

10月30日(日)梅光学院大学梅ヶ峠キャンパスにて、婚活イベント"みかんDEデート"を行います。参加資格は25～45才独身の方で、男性は豊浦町在住または在勤の方としております。豊浦地区に定住したい若者の出会いをサポートできる場になればと思っています。当日はバーベキューやみかん狩り体験などを準備しております。興味のある方はぜひ「まちづくり協議会」ホームページより参加申請をお願いします!

また、子育てされている方々に病児保育のニーズについてアンケート調査を行いますのでご協力をお願い申し上げます。

アンケート調査を実施

（生活環境部会）

生活環境部会では、もっと買物に行きやすくできないか？という課題に取り組み、各地区のご高齢の方々を中心に、買物アンケート調査をさせていただいています。交通手段としては生活支援バスや乗合いタクシーなどを考えていますが、まだまだアンケート数が足りていません。今後も引き続き調査を行いますので、ご協力をお願いします。また、調査結果後、実施する際はこの会報にてお知らせ致しますので、よろしくお願い致します。

豊浦知っちょる会 Part2 （文化・スポーツ部会）

7月9日（土）講演会シリーズPart2「豊浦知っちょる会」を60名を超える方にご参加頂き、川棚公民館にて開催致しました。講師には烏山民俗資料館の河田館長に前回に引き続きお願いをし「明治維新以降、近代という大きな社会変化の中を生き抜いてきた先人たちの足跡」についてご講演をいただきました。

室津地区で鰻絵群が作られた理由、黒井地区で養蜂や西瓜・ネーブル栽培が行われた経緯、川棚温泉水を使用した「温泉染め」、小串町発展の理由（小串町経済再生計画）、湯玉地区の大敷網発祥と交易、各地区の名所旧跡等々、豊浦の魅力を写真や当時の新聞などを用い、解りやすく講演いただきました。今後は各地域の隠れた魅力を皆さんと共に再発見していきたいと考えております。

次回Part3は、10月29日（土）宇賀ふれあいセンターでの開催を予定しております。皆様ぜひご参加ください。

地域活性化部会が『道の駅』開設の議論をスタート!

（地域活性化部会）

【二番煎じ】ならぬ【四番煎じ】であっても、豊浦地区にとっては活性化の重要なテーマです。

今後、まちづくり協議会の地域活性化部会を中心に、行政及び地域の関係の皆さんに参画いただき、議論を起こしていきたいと考えています。

どこに造るのか？ロケーションの売りは？そもそも先行の「道の駅」を超えることができるのか？地産地消の仕組みづくりや観光にどの程度寄与できるのか？訪れた人に喜ばれる品物（農・漁・加工品等）を提供できるのか？など様々な視点から賑やかな議論を起こしていきたいと考えています。

関心のある方は是非、部会に参画いただき、ご意見をお待ちしています。

皆さんの困りごと（医療・介護・福祉・生活等）を出し合いながら、住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくりを目指して

地区ごとに『困りごと懇談会』を開催

（医療福祉部会）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていきたいものですが、高齢化による介護の必要性や独り暮らし、また住まいや日常の買い物など、暮らしの不安は様々だと思います。

このような不安、困りごとを一人で抱え込まずに、みんなで出し合い、地域の課題・問題として話し合う場として『困りごと懇談会』を企画しました。

包括支援センター・市社協・民生児童委員・地区社協・自治会・福祉サービス事業所などにも参加を呼び掛け、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

十月二十三日（日）の小串を皮切りに、川棚・室津・黒井・宇賀と各地区で順次開催しますので、『困りごと』をお持ちの方はもちろん、地域の取り組みに関心のある方の参加をお待ちしております。

地域活性化部会 講演会

7月22日、ロハス農園（湯町）で有機農産物の生産・販売、農場コンサルタント、就業希望者への支援をしている中野芳男さんを招き、「豊浦町の農業の可能性について」という演題で講演していただきました。

国は農林水産業の成長産業化に向けた動きを始めており、有機農産物の意識は高まっていますが、流通は全農産物の0.5%未満です。日本の農薬使用量は世界第3位で、他国では使用が制限されている農薬等が使用されているため外国では輸入禁止になることもあるそうです。食糧の安定的な確保の観点からも、国産農産物の需要が非常に高まっており、農業は若い人に勧められる職業になる、と中野さんは熱く語ります。

有機農法は安心安全な農産物の生産だけではなく、地域から出る有機廃棄物を資源として循環させることで、地域の景観が維持され、里山も管理されます。九州や広島、アジアを市場として見据えた時、地形や地質の変化に富む豊浦町の農業には大いに可能性があるそうです。勇気の湧いてくる講演会でした。